

- ① 研究課題名：2型糖尿病患者の血中グルカゴン値の臨床的意義の検討
- ② 研究の目的：グルカゴンとは膵α細胞から分泌される29アミノ酸残基からなるペプチドホルモンで、血糖値を上げる作用を持ちます。グルカゴンの測定には従来はRIA法（RIA：radioimmunoassay）が用いられていましたが、グルカゴンが合成される過程で発生する類似したペプチド（オキシントモジュリン、グリセンチン、ミニグルカゴン）とも反応するため、グルカゴンのみを正確に測定できないという欠点がありました。その後2016年11月よりグルカゴンのみを測定するサンドイッチELISA法が保険で認められました。

今回の研究は、過去のRIA法で得られた結果が、純粋にグルカゴンのみの影響かどうかをサンドイッチELISA法によるグルカゴン値にて再確認することや他の検査結果とサンドイッチELISA法によるグルカゴン値を比較し、糖尿病の病態評価の指標となるかを検討することです。

- ③ 研究期間：西暦2020年2月～2020年12月31日

- ④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：今枝憲郎

研究実施施設：名古屋市立西部医療センター 内分泌・糖尿病内科

- ⑤ 研究の対象：

- 1) 2018年7月1日から2019年9月30日までに名古屋市立西部医療センター内分泌・糖尿病内科外来に通院中の2型糖尿病の方
- 2) 血中グルカゴン値をサンドイッチELISA法で測定された方

- ⑥ 調査項目：

血中グルカゴン、年齢、性別、HbA1c、空腹時血糖値、体重、身長、BMI、AST、ALT、γ-GTP、s-Amy、糖尿病罹病期間、収縮期血圧、拡張期血圧、肝CT値、TG、LDL、HDL、eGFR、尿アルブミン指数、血中Cペプチド、糖尿病治療薬

- ⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は、内分泌糖尿病内科で集計・解析されます。

- ⑧ 研究成果の公開

第63回日本糖尿病学会年次集会で公表することを予定しています。

- ⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて登録されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出をされた場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

- ⑩ 利益相反

本研究における利益相反はありません。

- ⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1	内分泌・糖尿病 内科	今枝 憲郎 TEL：052-991-8121（代表）